



めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和7年3月10日 No.42

3月も1週間が経ちました。時が過ぎるのがとてもはやく感じます。来週にはいよいよ卒業式があります。6年生は卒業式に向けて気持ちを集中させ、練習に取り組んでいきましょう。6年生だけでなく、1年生から5年生まで、残りわずかな令和6年度、1年間のふり振り返りと新しい学年に向けて、落ち着いた気持ちで学習や学校生活に取り組んでいきましょう。

アウトメディアデーご協力ありがとうございました

2月25日(火)・26日(水)の両日、今年度最後のアウトメディアデーに取り組んでいただき、本当にありがとうございました。

毎回、保護者の皆様の感想の中でいろいろと創意工夫をしながら、「子どもと一緒に家族みんなで取り組んだ」と書いていただくことがあり、子どもがうれしいと感じるのはもちろんですが、お願いしている学校の方も、ご協力いただきうれしい気持ちでいっぱいです。協力いただき本当にありがとうございます。

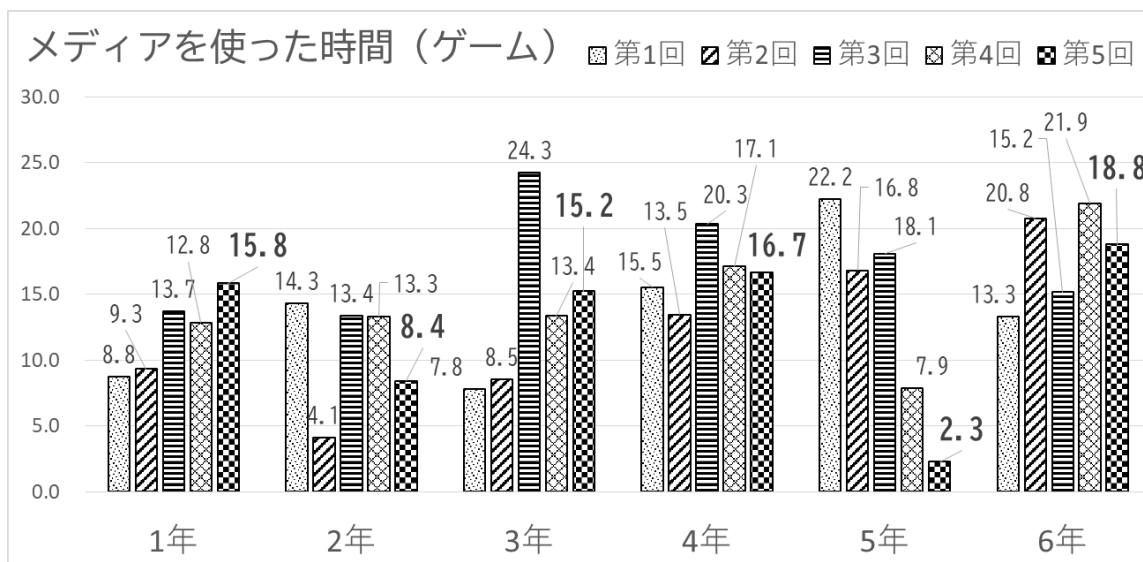
Ⅰ メディアの使用時間について

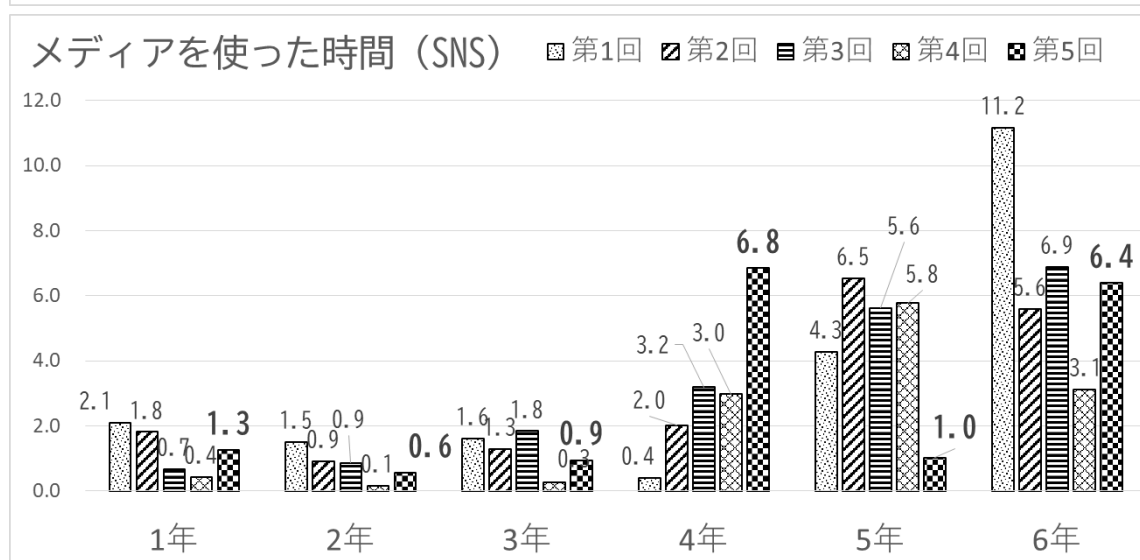
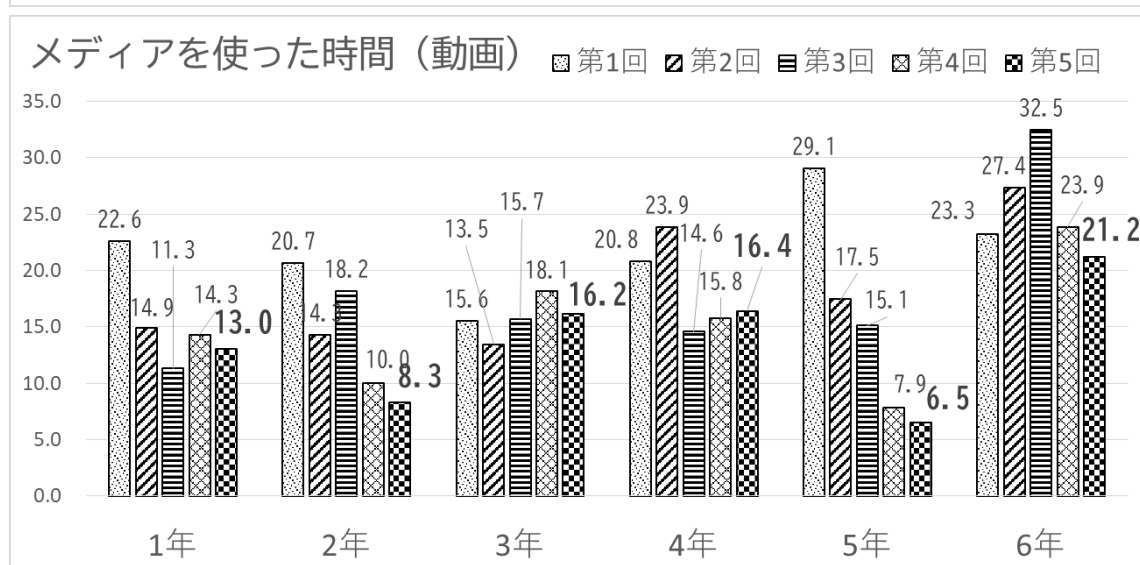
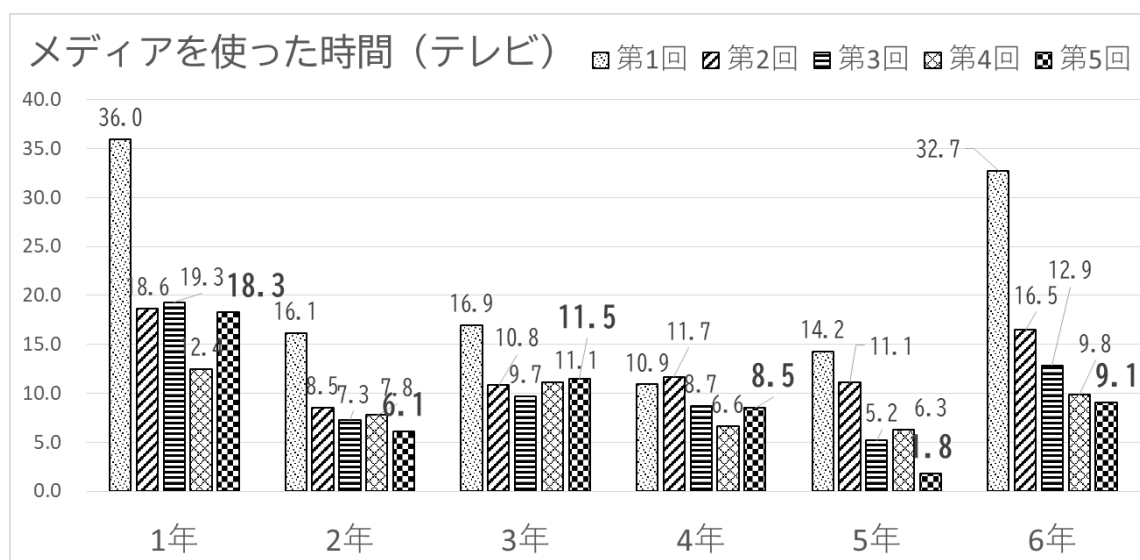
子どもたちがこの期間にメディア(ゲーム・テレビ・動画・SNS)を使った時間は、1日あたり**平均38.2分**(第4回は**41.1分**)で4回目より約3分減らすことができました。取組の目的を理解し、がんばっている姿が見られました。

各メディアの使用時間を第1～4回と比較したグラフは次の通りです。

グラフを見ると前回までの使用時間を上回っているメディアの使用時間もありますが、期間中はおおむねどのメディアも使う時間を減らすように努力していることが集計からうかがえます。

なお、2日間全くメディアに触れなかった児童は全体の**29.9%**(第4回は**28.0%**)でした。

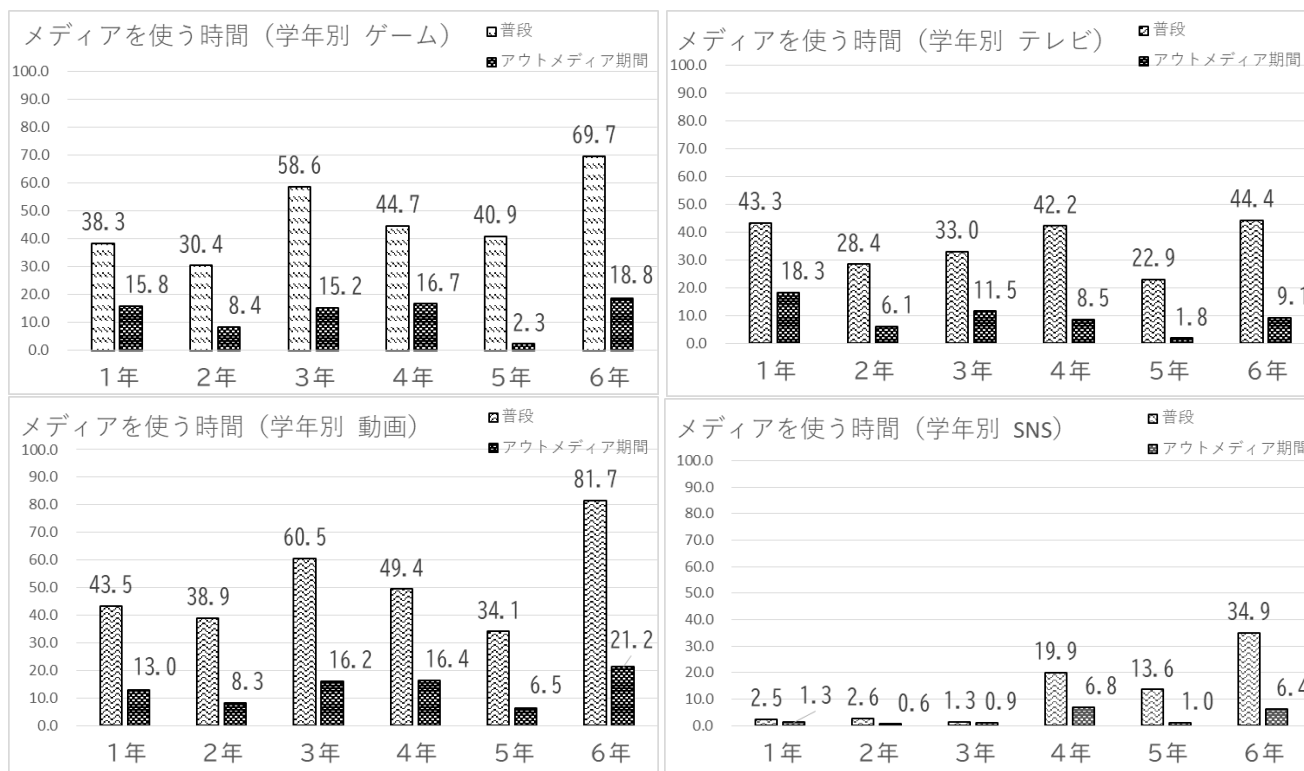




また、普段どのくらいメディアを使用しているのかを子どもたちが自己申告した時間を集計しました。

全学年の平均を出すと、1日 **145.9 分間**(第4回は **140.5 分間**)もメディア(ゲーム・テレビ・動画・SNS)を使用していると申告しています。アウトメディアに取り組んだ期間の1日の平均使用時間 **38.2 分**の約 **3.82 倍**(第4回は約 **3.4 倍**)メディアを使用している計算になります。

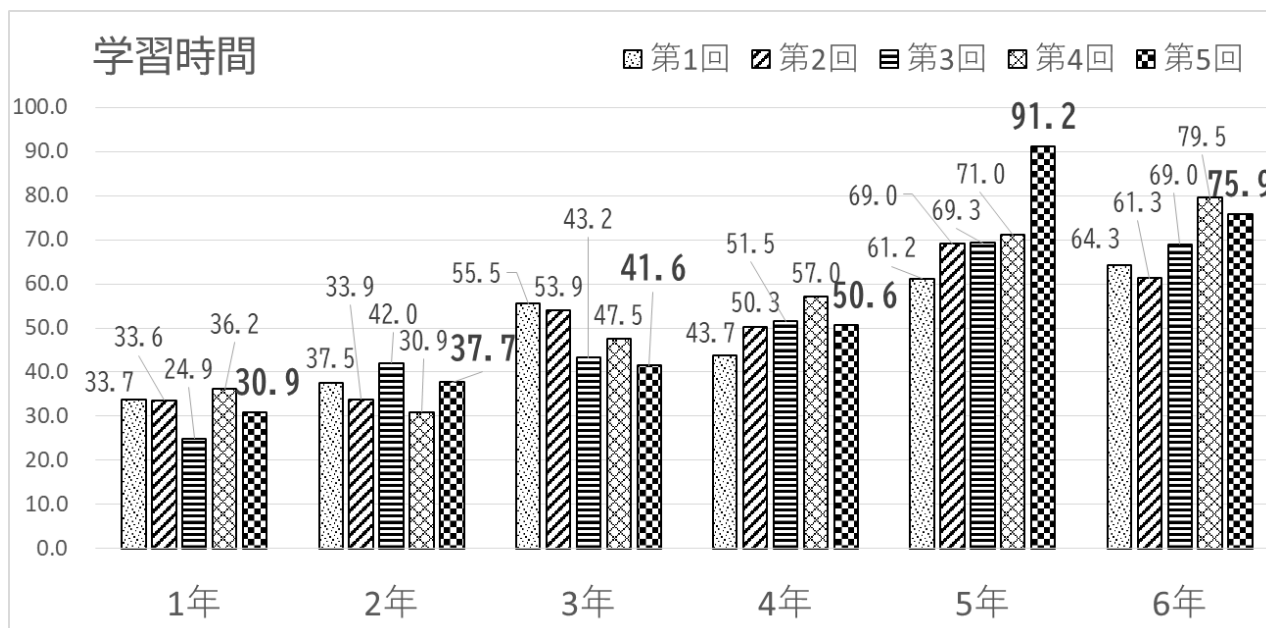
次のグラフは、普段どれくらいメディアを使用しているのか、子どもたちが自己申告した普段の使用時間を平均して学年別で表しました。比較のために、アウトメディア期間の2日間の平均使用時間も載せました。

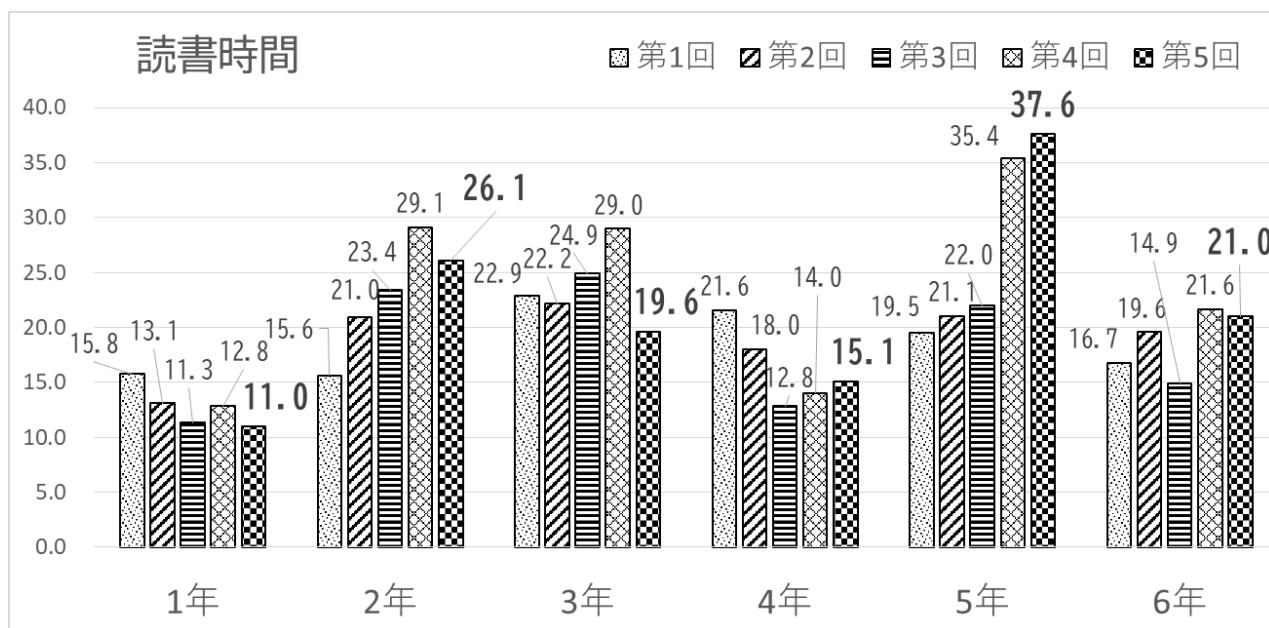


グラフを見ていただければわかりますが、普段から、「メディアに触れる時間は○分にする。」と自分で決めてきちんと守っていきけるのではないかなと思えるくらい、子どもたちはきちんと取り組んでいることがうかがえます。

2 学習時間や読書時間について

この期間の1日あたりの学習時間は、全学年平均で**56.3分**（第4回は**55.8分**）、読書時間は、全学年平均で**22.1分**（第4回は**23.4分**）でした。学年別の第1～4回との比較は次のグラフの通りです。





また、子どもたちが自己申告した普段の学習時間や読書時間をアウトメディアデー期間に実施した学習時間、読書時間と重ねたグラフを示します。

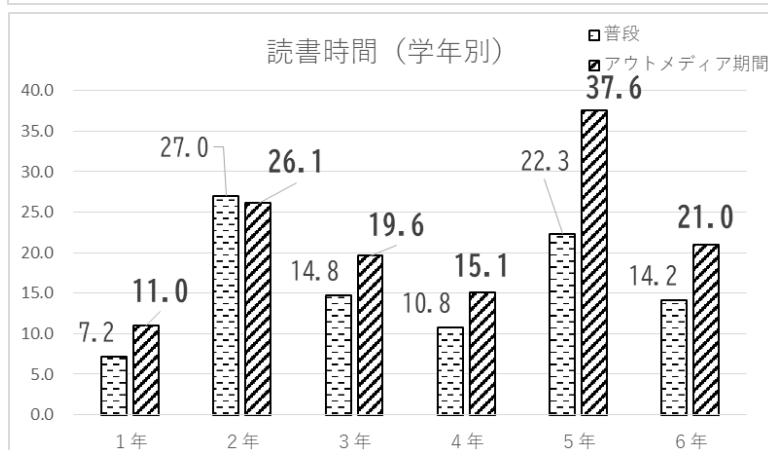
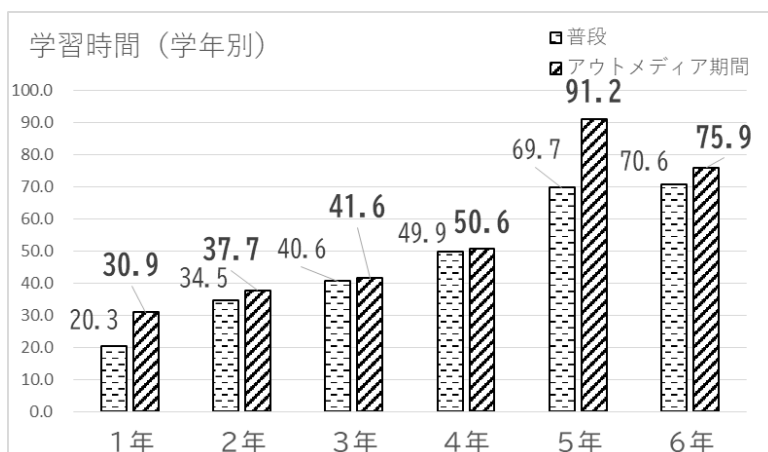
どの学年の子どもたちも、アウトメディアデーには普段メディアを使っていた時間を学習や読書に上手に使っていることが伺えます。子どもたちは前向きに取り組む、とてもよくがんばっていることが、ふり返し用紙にもよく表れていました。

期間中は、各学年の家庭学習の時間の目安”学年×10分+10分”をおおね達成できています。

各ご家庭での保護者の皆様のご協力のおかげとしたいと思います。ありがとうございます。

この1年間の取り組みをふり返りますと子どもたちは、毎回真面目に取り組む年間10日間メディアにほとんど触れずに、勉強に取り組んだり、読書したり、友だちと遊んだりするなど有意義に過ごしたことと思います。

子どもたちの取り組みから、この取組の意義を理解させ、メディアに接する時間を自ら決め、守り、実行するとともに家庭学習の時間も決め、いかに習慣化させるかが課題であると感じました。鈴鹿市が進めている非認知能力の育成において、“やりぬく力”と“セルフコントロール”の項目に当たると考え、次年度に向け、取り組み方や教員の子どもへの働きかけ等、検討していきたいと思えます。その際には、保護者の皆様にもご協力をよろしくお願いします。



保護者の皆様には、年間5回のアウトメディアデーにご協力いただきありがとうございました。以下に保護者の皆様から頂きました意見、感想を掲載させていただきます。

- 空いた時間に読書をしておりとても良かったと思います。次のアウトメディアデーでは、普段読まない本を読むのもいいなと思いました。
- 「暇だ」といって勉強をしていました。ずっとノーメディアが続いてほしいです。
- アウトメディアデーの時だけ気を付けるのでは意味がないと思います。日ごろからメディアに触れる時間はほどほどにしてほしいです。
- 「洗濯物のたたみ方教えて」といって洗濯たたみを手伝ってくれました。自主学習も積極的に取り組みました。
- 宿題の後に本屋さんで購入したワークに取り組んでいる姿を見て、高学年に向けての姿勢ができてきたと感じました。
- 自分で選んだ本を読む楽しみを見つけられたと思います。少し難しい本に挑戦でき、すごいと思いました。
- メディアを使っていない分、会話が増えてよかったです。
- メディアを使わない工夫で過ごせるようになったところが少し成長を感じました。
- 今年度最後のノーメディアデーでした。張り切って取り組めていました。テレビとゲームの時間を減らすと家での時間にゆとりが持てて、親が「早くしなさい」等の注意をせずに済みました。テレビやゲーム中に注意すると「今良いところだから～」といってよくケンカになります。
- アウトメディアデーはいつもメディアを使わないように努めています。今日も小さな妹と遊んでくれたり、アウトメディアデーのために図書館でたくさん本を借りて来て読んでいました。習い事もしたい!友だちとも遊びたい!テレビも見たい!本も読みたい!とやりたいことが多すぎて寝るのが遅くなる日も多いのですが、アウトメディアデーの時はテレビがなくなるので時間に余裕ができることと、就寝時間が早くなるのでとても助かります。ありがとうございます。
- 今、家族全員で漢字検定を受けるためにがんばっています。アウトメディアデーの時は自分から漢字のテキストで勉強を始めていたのでビックリでした。家族で漢字を勉強しながら勉強方法などを話しています。いっぱい漢字を覚えて合格できるようにがんばってほしいし、一緒にがんばりたいです。
- 仕事から帰宅すると、宿題を終え四字熟語の本を横に自主学習をしている姿があり、興味のあることを掘り下げているところが中学校に向かっていっていると感じました。がんばりました。
- 1年生の時から、6年間アウトメディアデーはメディア0にしていた感心しました。1年生の時から自分で工夫して過ごしていました。学習時間は変わらずでしたが、6年間本当にがんばって取り組んでいたと思います。
- アウトメディアデー(の取組期間)だから見ないと心がけるのも大切ですが、普段から時間を決めて動画を見てほしいです。
- 学校からこの用紙を持ち帰ってすぐ冷蔵庫に貼り準備万端でした。普段なら帰宅後はゲーム機に手が伸びるところですが、この2日間はビーズでキーホルダー作りをしたり、もうすぐ漢字テストがあるからと自主勉をしたりと有意義に時間を使う姿が見られました。こちらから声掛けすることなく自主的に行っていたことが素晴らしかったです。テレビやゲーム機からの音がないと、ゆったりと穏やかな時間を感じられて家族としてもありがたく思いました。ノーメディアデーの効果ですね。3日間でなく2日間だったことも子どもには取り組みやすかったように思います。
- 自ら学習したり読書したりして、感心しました。それ以外にもお手伝いがんばってくれてとても助かりました。いっぱいお話できて学校での様子も教えてくれました。
- 本人が意識して取り組みばノーメディアの生活ができると実感しました。
- 最近はゲームをしていることより、お姉ちゃんと2人で楽しそうに笑っていることが多いです。1階まで届くほどの大笑いが聞こえてくる毎日で私としても、ホッとした気持ちになります。
- アウトメディアデーの間は外でもたくさんあそび、家でも大きな声で兄妹で遊び、とても微笑ましいです。
- 工夫して普段しないことをしたりして、メディアをしないようにしていました。こういう時間も大事ですね。